

市指定

所在地：呉服町

あんようはいじのぞうこつき

## 安養廃寺の蔵骨器

昭和44年、辻の鶴沢山麓にあった安養廃寺跡から出土した、鎌倉時代から室町時代にかけての古丹波の壺や甕など23点である。「広口二重口縁甕」「短頸壺」など多種多様で、「窯印」の刻まれたものもある。

これらは廃寺跡地から、一石五輪塔、石仏、宝篋印塔、五輪塔とともに出土しており、骨壺に転用されたものである。安養廃寺は、当時この地域を支配していた波々伯部氏一族の菩提寺と見られ、付近には東山城跡、南山城跡、淀山城跡などが残っている。



墓石基礎

